

特別講演会

Common dental disorders, nutrient intake and antioxidant vitamin level with periodontal disease among diabetic community in Bangladesh

Arup Ratan Choudhury, B. D. S., Ph. D.

Head and Chief Consultant
Department of Dentistry
Bangladesh Institute of Research and Rehabilitation in Diabetes Endocrine
and Metabolic Disorders (BIRDEM), Dhaka, Bangladesh

これまで、Dr. Choudhuryは糖尿病患者において抗酸化剤であるvitaminレベルと歯周疾患との関連について研究を続けており、今回は主としてインシュリン非依存性のII型糖尿病患者における患者の血清beta-carotene, vitamin E, Cレベルと歯肉出血、歯槽骨吸収について講演した。

血清beta-caroteneレベルが低いとき、および、vitamin Cレベルが低いとき、非糖尿病患者の約75%、II型糖尿病患者の約70%に、非糖尿病患者約45%、II型糖尿病患者の約58%に歯肉出血がそれぞれ認められた。歯槽骨吸収において

は非糖尿病患者では血清beta-caroteneレベルと歯槽骨吸収に負の相関があり、II型糖尿病患者では血清vitamin Eレベルとにおいて負の相関があるとのことである。歯周疾患の1症状である歯肉出血の予防、健康な歯槽骨の維持にとって抗酸化剤であるvitaminの食事摂取が重要であり、Bangladeshにおいては適切な食事指導の必要性を強調していた。

(平成13年6月21日、木曜日、図書館大会議室)

北海道医療大学歯学部口腔病理学講座

賀来 亨